

花蕾の純白さとバランスのとれた球形の早生種

予告品種

NX-CL913

カリフラワー



徳島のカリフラワー栽培は、昭和40年代頃から作付面積を増加し、昭和60年頃にピークとなりました。栽培当初は、生産性が低かったものの、品種選定や栽培技術の確立で向上していきました。

しかし、生産者の平均年齢は60歳を越え、高齢化に対応した産地づくりが今後の課題です。その中で、新たにカリフラワー栽培を始める生産者も現れており、面積規模も異なるさまざまな生産者が協力し合うことで産地の厚みを増しています。

徳島県徳島市(川内地区)

【耕種概要】

7月24日播種 8月20日定植 10月30日収穫

【評価】

- ・なんといっても、花蕾の白さが際立っている。
- ・花蕾の形状が乱れず、バランスのとれた形状。
- ・生育の難しい時期でも、秀品率が高くロスが少ない。

【課題】

- ・当地での収穫適期は、10月下旬～11月まで。適期を過ぎると毛羽立つことがあるので、収穫適期を守ること。

2022年拡大試作を行います。詳細は弊社、担当まで。



苗商品紹介

トマト・ナス他

接木プラグ苗

(有限会社グローイング・マック)

8月～12月出荷

出荷期間は8月～12月で抑制栽培向けとなります。規格は通常、深底、2本仕立て、V接木、W台木。32穴トレイから406穴トレイまで幅広く対応しています。※出荷先には制限がありますので営業担当迄お問い合わせください。



プラグ苗(左)、通常苗(右)

多彩な規格

生育旺盛

写真左)中玉トマトの接木苗で定植後の生育を通常苗と比較してみました。(※播種日は同日)
生育スピードが通常苗と比べ1週間～10日程早く旺盛であり、早期収穫や増収が期待できます。



プラグ苗(左)、通常苗(右)

写真上)トマト苗到着時。茎の太さは通常の約1.5倍とがっしりしており、根の張り方も均一で良好です。